

## 附属図書館の椅子について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2019年3月13日）

附属図書館に設置してある、相当数の椅子の底が抜けており、非常に困っております。  
今までに、完全に両底が抜けきった椅子1脚を回収している場面を偶然目にしたことがありますが、片側の底が抜けた椅子も同等に不安定かつ危険で、現在はかなりの数がそのまま使われ続けていますが、回収し、交換・修理をする必要性が高いと考えます。  
図書館が空いている日ですえ、座る前に底が抜けていない椅子を探してから座らなければなりません。  
混雑時には底の抜けた椅子に座らざるを得ない場合がありますが、不安定・危険で、安心して作業に取り掛かることができず、大変困ります。  
予算の問題等があるとは思いますが、まず現状を確認し、修理や買い替えについて、どうか検討していただきたいです。よろしく願いいたします。

【回答】（回答日：2019年3月29日）

（附属図書館）

現在附属図書館閲覧室で使用している椅子は、現在の建物ができた昭和58年に導入したものが大半です。老朽化により破損したものもあり、ご迷惑おかけして申し訳ございません。  
予算の状況にもよりますが年間20～30脚程度を修理し破損に備えておりますので、破損した椅子を発見された場合はお手数ですがカウンターにお知らせください。  
また、図書館としても利用者の少ない時期などに見回りを行い、破損した椅子が閲覧室に放置されることのないよう、気を付けたいと思います。よろしく願いいたします。